活動報告書

所属:生物化学分析検査研究班 提出日: 令和7年10月24日 報告者:森部龍一

				ı		
行事種別	研究会	行事	番号 ————	2	250009714	
開催日	令和7年10月19日(日)					
時間	開始	10:00	終	了	16:00	
場所・配信	(所在地 リップルスクエア					
テーマ	臨床検査技師に知っておいてほしいアレコレ					
生涯教育履修点数	専門教科 20 点					
司会	愛知医科大学病院 森部龍一 春日井市民病院 衛藤麻理子 安城更生病院 青山和史					
	1. 「臨床検査技師に知っておいてほしい統計」					
講師	愛知医科大学 臨床研究支援センター 准教授 大橋渉 2. 「知っておきたい生化学測定の基礎とバリデーション」 積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター 学術企画グループ 高田真由美 3. 「試薬切替え、学会発表前提の試薬性能の検討手法の基礎」 シスメックス株式会社 カスタマーサポート部 学術サポートグループ 柴田宏 4. 症例検討(グループディスカッション) 藤田医科大学 岡崎医療センター 田中亜希 新城市民病院 工藤雄貴				ートセンター 高田真由美 ーサポート 部 ープ 柴田宏 ー 田中亜希	

合計:現地開催(講師·実務委員·参加者)、

ライブ・オンデマンド配信(講師・実務委員・レポート提出者)

	本基礎講座では「臨床検査技師に知っておいてほしいアレコレ」をテーマに開催した。				
内 容	講演1では、普段学ぶ機会が少ない統計について、お話しいただいた。統計の基礎、検				
	定、n数やデザインの重要性についてわかりやすく解説いただいた。				
	講演2では「知っておきたい生化学測定の基礎とバリデーション」について、生化学領				
	域の自動分析装置で測定される項目・濃度範囲、分析条件、キャリブレーション、バリデ				
	ーションについてお話しいただいた。				
	講演3では、「試薬切替え、学会発表前提の試薬性能の検討手法の基礎」について、免疫				
	反応と生化学反応の違い・活性とタンパク量測定の違いから、試薬検討方法についてお				
	話しいただいた。				
	講演4では2つの症例についてグループディスカッションを実施した。各グループで活				
	発な意見交換があり、最後に2名の講師から症例の解説をしていただいた。				
参加者	合計:41名(会員23名、県外会員0名、講師5名、実務委員10名、非会員1名、賛助				
	会員2名、学生0名、その他0名)事前参加申込数:26名				
共催、後援など	無し				

合計:現地開催(講師·実務委員·参加者)、

ライブ・オンデマンド配信(講師・実務委員・レポート提出者)